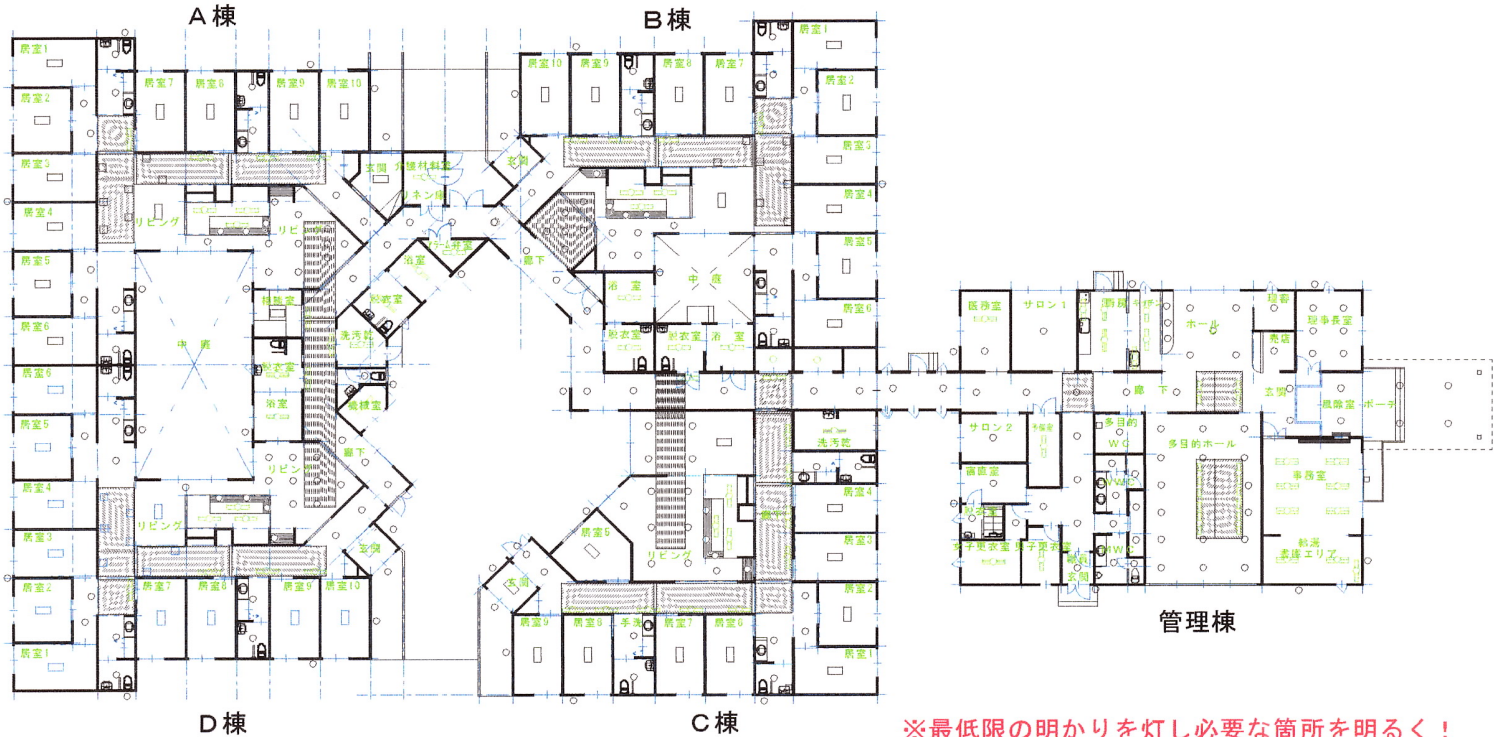


E C Oemer採用

新築高齢者施設照明電力

65.6%削減



※最低限の明かりを灯し必要な箇所を明るく！

青森県内の地域密着型特別養護老人ホーム

施設のコンセプト：

「普通の家」の「普通の暮らし」

入居定員数：

特別養護老人ホーム 定員29名

ショートステイ 定員10名

施設：「和風の家」をイメージし、木造平屋建て、畳や木の風呂採用し落ち着いた雰囲気施設の
建坪：約500坪

労働安全規則第六百四条：

作業区分	基準
精密な作業	三百ルクス以上
普通の作業	百五十ルクス以上
粗な作業	七十ルクス以上

照明使用電力

当初計画：10,343w

当社提案：8,799w (約15%削減) 図面見直しにより削減する

調光目標：7,000w (約32%削減) 調光する事により使用電力を削減しようと考えていた。

現使用量：3,554w (約66%削減) 使用者が明るさを決める

経緯

- ・知人に高齢者施設開設予定者を紹介して頂く
- ・工事発注中であったが、当社のE C Oemerの説明をする (約500万円)
- ・東日本大震災で約1週間の停電を経験したとの事で、蓄電池検討中 (約2,000万円)
- ・当社のE C Oemerシステムなら停電時850wで運営可能と説明する (3~4kwhの発電機で十分対応可能)
- ・上記により約100万円で6kwhの発電機を盤込で購入 (約1,500万円の削減)
- ・採用が決定し、最低照度より1段階上の照度設定で納入する
- ・建物引渡し後約2週間後現地で明るさを職員さんに決めて頂く (高齢の方優先で)
- ・殆どの場所でそのままか1~2段上の明るさで良いと言われる (但し労働安全衛生法の照度基準は遵守する)
- ・運営開始1週間後再度設定しに行く。多少の変更依頼 (明るくする) 依頼がある
- ・当初850wと7,000w2本のソフト導入を考えていたが1本で済む
- ・働く方に明るさを決めて頂いたが本当に必要な明かりとは・・・考えさせられる

新しい環境空間を創造する OZUPLC採用

改修 高齢者施設照明電力
74.0%削減



※最低限の明かりを灯し必要な箇所を明るく！

青森県内の短期入所生活介護・デイサービス

入居定員数：

短期入所 定員21名

施設：RC3階建て施設

労働安全規則第六百四条：

作業区分	基準
精密な作業	三百ルクス以上
普通の作業	百五十ルクス以上
粗な作業	七十ルクス以上

照明使用電力

当初設計：20,571w

当社提案：9,226w（約55%削減）

調光目標：5,334w（約74%削減）

経緯

- ・知人に高齢者施設責任者を紹介して頂く
- ・現在運営中であったが、当社の「新しい環境空間を創造する」OZUPLCの説明をする
- ・経費削減計画中であった
- ・当社のOZUPLCで計画を立てる
- ・計画後74%削減が可能と説明する
- ・投資費用も約6年間で回収可能と説明する
- ・採用決定していただく